

# ヒゲの校長

映画

Once upon a time in Osaka. For the Deaf with Sign Language 1914



**【日時】2023年7月29日(土)**

第1部: 10:00~12:10 (受付 9:30) 定員: 100名

第2部: 14:00~16:10 (受付 13:30) 定員: 100名

第3部: 17:30~19:40 (受付 17:00) 定員: 100名

◎谷監督のビデオメッセージも上映します!

**【場所】埼玉県障害者交流センター ホール**

(さいたま市浦和区大原3-10-1)

**【チケット】2,000円 (中学生・高校生1,000円 小学生以下無料)**

○例会、サークルで申し込み…お金と一緒に申し込んでください。

○FAX・メール・フォーム (QRコード) からの申し込み…当日、会場受付でお支払いください。

※収益は、埼玉聴覚障害者福祉会へ寄付します。

主催: さいたま市聴覚障害者協会

協力: さいたま市手話通訳問題研究会・さいたま市手話サークル連絡協議会

後援: さいたま市・さいたま市議会・さいたま市教育委員会・(社福)さいたま市社会福祉協議会・

(一社)埼玉県聴覚障害者協会・(社福)埼玉聴覚障害者福祉会・さいたま市障害者協議会

**「ヒゲの校長」上映会申込書**※締切…7月21日(金)

FAX: 048-653-7324 メール: fukusi@bz03.plala.or.jp

申し込みフォーム



希望の部 (○をつけてください)	第1部 10:00~	第2部 14:00~	第3部 17:30~
氏名		・さいたま市 ・市外( )	・きこえない ・きこえる
連絡先 FAX・メール			確認(担当記入)

# ～手話とろう者を守るために戦い抜いた校長がいた～

大正3年、高橋潔は家の事情で海外留学をあきらめ、大阪市立聾啞学校の教員となった。そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられてきた正一。正一は耳が聞こえず、会話ができないもどかしさで暴れる。高橋潔はそんな正一に正面から向き合い、手話を覚え、手話で共に歩みだす。

そんな中、全国のろう学校で「口話法」が採用され、口の動きを読み取り、発音できるようにする教育がよしとされた。口話法をするために手話は禁止すべきだと、ほとんどの学校で手話での指導だけでなく、会話をする事さえも禁止されてしまった。

ろう者の言語である手話に取り上げられつつある中、手話とろう者を守るべく、高橋潔校長と先生たちは一丸となり、時代にあらがおうと立ち上がった。

これは実話をもとにした映画である。



昭和8年 大阪市立聾啞学校  
(高橋校長と聞こえない先生たち)



## 申し込み・問合せ先

さいたま市聴覚障害者協会

「ヒゲの校長」上映会事務局 山口

FAX 048-653-7324

メール [fukusi@bz03.plala.or.jp](mailto:fukusi@bz03.plala.or.jp)